

# 八王子中町プロジェクト

八王子市中町を対象とした花街の雰囲気の回生及び活性化に向けた活動支援

## 活動地域

東京都八王子市中町

## 活動期間

2011年～継続中

## 活動体制

工学院大学 野澤研究室

八王子市中町地区まちづくり協議会

八王子市まちなみ整備部まちなみ景観課

まちづくりアドバイザー

## 活動キーワード

# 中心市街地 # 花街 # 黒塀  
# 柳 # 石畳

## 所属メンバー

M2 芹澤啓昭 高橋豪太 柳澤加奈

B4 太田菜々瀬 斎藤桃乃 永山勝也

花房実結 彌吉美成

吉岡里帆 渡邊辰一郎

B3 丸山香奈恵 増澤慧 横島大介



## プロジェクト概要

明治30年の大火をきっかけに花街が集約した「中町」では、織物業ともに花街文化も発達し、大正末期には150名ほどの芸妓数を誇っていた。一時は織物業の衰退とともに料亭や芸妓の数は減少したが、近年は「江戸東京・まちなみ情緒回生」事業として補助を受けるなど、かつての花街の情緒を回生しようという気運が高まっている。これに伴い、当プロジェクト及び中町まちづくり協議会においては、暮らしに歴史と文化の薫るまちづくりを目指し日々活動している。



## 活動経緯

本研究活動は本校が所在する東京都八王子市の、歴史的資産である花街文化の継承と活性化を目的として活動している。八王子市では平成18年度の施行された八王子市地区まちづくり推進条例にて、中町地区を対象に地区まちづくり協議会を発足した。野澤研究室としては、まちづくり学科の学生という立場から、研究活動や協議会への提案を行い、地域住民と共に花街の活性化に向けた活動を行っている。



## これまでの活動

- 2012 【黒塀のデザイン提案】  
中町の資源である黒塀を活かして駐車場のフェンスを改装・塗装するプロジェクトを実施。
- 2013
- 2014 【花街マップ作成・景観整備・空き地利用】  
散策マップの作成、違法駐輪対策や清掃活動を実施。空き地活用したイベントを開催。
- 2017
- 2018 【八王子まつり参加・花街文化周知活動】  
八王子まつりにまちの一員として参加。2016年に作成した花街散策マップを更新し配布。21年完成施設を活用し、展示企画実施。
- 2021
- 2022 【花街文化継承・景観保全の活動】  
芸妓衆と連携し、花街文化継承イベント実施。協議会オリジナルを手ぬぐい作成。また、シャッターデザインや灯り設置などの景観活動を行った。

## 活動の様子



灯り設置



紙コップワークショップ



花街文化の質問会



芸妓衆とのまち歩き

## 今年度の活動内容

今年度は、感染状況の改善により、少数の人を集めたイベントを行うことができた。これは、大きな一歩であると感じている。そして、新たに手ぬぐいの販売を企画し、資金調達方法のひとつとなることを期待している。また、学生の活動のみならず、まち全体として新たな動きがあった1年であった。中町内の景観の変化として、黒堀の新施設「桑都テラス」が完成し、小松ビル1階には髪結い店と日本庭園風な敷際が出来た。一方、協議会のメンバーとして桜美林大学や東京都立大学の学生や先生が関わる機会があるなど、中町に関わる人の変化があったと感じている。

## 花街文化継承イベント

6月11日～12日に中町花街文化継承イベントを開催した。協議会の歴史を振り返る展示や、町民や芸妓さんを交えたまち歩きなどの企画を実施した。まち歩きでは、花街の特徴的な施設である、置屋や料亭、見番を内部まで見学させていただいた。私達学生も初めて施設を見学することができ、中町花街を体感できるよい機会となった。また、参加者の方が熱心に話を聞いている様子が印象的であり、花街文化に関心を持っていらっしゃる方にとって、充実したものとなったと考えている。



## 協議会手ぬぐい作成

八王子まつりにおいて販売を予定し、中町地区まちづくり協議会オリジナル手ぬぐいを作成した。デザインから商品説明まで学生が企画している。折りたたむと半纏の形になり、中町のまつりを感じられる。今後、町内に販売予定。



## シャッターデザイン

協議会発行の花街散策マップに登場する猫キャラを、実際の街へ登場させるというアイデアのもと、まちの施設のシャッターにイラストを描く企画を進行中である。今年度は見番、来年度は焼き鳥屋に描かれる予定だ。デザイン案は学生が担当した。



## 施設展示

11月12日には、町内の施設を利用し、6月イベントの振り返り展示と、灯りを入れる紙コップをデコレーションするワークショップを行った。また、中町の景観保全活動として、中町の灯りとはどのようなものであるかという問いかけるコーナーを設置した。



## 来年度の活動予定

### 【新施設の活用】

新施設では学生は無償で、営利的な利用も可能であるため、活用していきたい。また、協議会内で、縁日開催の話があるため、当PJの学生だけでなく、中町に関わる人々との連携を図った利用が出来ると良いのではないかと考えている。

### 【八王子まつり・おわら風の舞】

今年度は惜しくも、感染状況悪化のタイミングとまちの2大イベントの時期が重なり、中止となった。来年度こそは、まちの季節の行事が行われることを願いつつ、まつりへの参加や灯籠の設置、清掃活動などを準備していく。

